

初めて相談を依頼した頃（〇歳〇ヶ月頃）、お子さんはどんな様子でしたか？

ご相談させていただいたのは息子が1歳8ヶ月の時でしたが、当時は「発語がほぼない」「目が合いづらい」「模倣がない」「指差しがない」等、発達の上で気になる点が数多くありました。

生活面での困り事としては、とてもよく泣く子で常に抱っこをしている状態であったこと、またお散歩等外出しても思い通りにいかないと癩癩をおこすので、外出がしづらかったこと等があります。

現在までにどのようなことを相談しましたか？

困り事が出てきた都度、様々なことをご相談させて頂きましたが、こちらでは下記の3つを挙げさせていただきます。

- ①話せるようになってほしい
- ②癩癩を起こさせずお散歩等できるようになりたい
- ③叩くことをやめさせたい

相談してどのような変化がありましたか？

- ①話せるようになるには何が必要なのかを丁寧に教えていただき、まず親としての接し方が大きく変わりました。息子は泣くことが減り、笑顔もふえ模倣も出来るようになり、1人遊びも上手になりました。何より親子で穏やかに過ごせるようになりました。

そして言語面では、単語もまともに出ていなかった1年前では想像できませんが、今では2語文、たまに3語文まで出るようになりました。理解力も飛躍的に向上したと思います。

②外で癇癢を起こし、大人の進みたいように歩けなかったのが、今では買い物や大人が寄りたい場所にもついてきてくれます。まだ100%泣かないというわけではありませんが、以前に比べて親にとってストレスが大きく減りました。

③最も困っていたのが叩くようになってきたことです。初めは泣きながらしがみつく様子でしたがどんどん手が出るようになりました。ご指導頂いた通りに行ったことで、徐々に叩かなくなり、今では叩かなくなりました。安心して保育園に通わせることが出来ています。

子どもの発達面や行動面に不安を感じている親御さんに一言お願いします

私自身、我が子の発達に不安を感じ始めた当初は、暗闇に突き落とされたような感覚で、毎日のように泣いていました。最近不安を感じ始めた方のお気持ち痛いほどお察し致します。1歳半検診で指摘をうけ2歳まで様子見しましょうと言われて以降、情報収集に明け暮れました。

ですが本や論文等を読んでも「早期療育」の重要性をみかけることが多く、果たして「様

子見」でいいのかと考えるようになりました。あくまでも個人的な考えですが、早いうちから子供に様々な適切な経験をつませてあげることに悪い要素はないのだから、まずは動こうと考え、辿り着いたのが水流先生のホームページでした。

当時はまだ、息子は大丈夫だろうかと診断名等に囚われていましたが（今も全く気にならないわけではありませんが）、診断がついたから子供への対応が変わるということではなく、その時その時の子供の状況に応じた適切な対応を癖がつかないうちに早めに行うことが必要だと今は一層強く実感しています。もちろん子供やご家庭の状況等によって何が正解と
いうものはないと思います。

子供は経験によって大きく変わります。そしてその子供を支える親への適切な支援が非常に重要だと痛感しています。

皆様が、安心して相談が出来る場所に出会えることを祈っております。

以 上